

令和元年度 第2回市民協働推進委員会 議事録

- 1 日 時 令和元年9月17日（火） 午後6時00分から午後7時00分
- 2 場 所 豊川市役所 本34会議室
- 3 出席者 会 長 神谷 典江・・・(特非)穂の国まちづくりネットワーク
委 員 荒木 夏希・・・(特非)どんぐりの会
委 員 河邊 浩徳・・・(特非)みんなで豊川市をもちあげ隊
委 員 乙部 法行・・・元豊川市連区長会副会長
委 員 小栗 慎平・・・豊川高校インターアクトクラブ顧問
委 員 竹尾祐三子・・・豊川市社会福祉協議会地域福祉課長補佐
副会長 鈴木 敏彰・・・豊川市市民部長
- 4 事務局 市民協働国際課長、課長補佐、市民協働係長、係員
- 5 傍聴者 0名
- 6 議事概要

(1) 「令和元年度豊川市市民協働推進事業補助金 追加募集分のプレゼンテーション」について

【事務局】

本年度の豊川市市民協働推進事業補助金の公開プレゼンテーションは3月に行われ、8事業が採択された。補助金の予算額100万円の内、16万円余りがあったため、追加募集を行ったところ、三上連区から「三上ふれあいまつり」の企画書の提出があり、本委員会で審査していただく。

審査については、「公益性」「必要性」「協働性」「実行性」「効果性」の5つの項目を5点満点で評価していただく。「協働性」だけは評価点を2倍したものを合計するため、30点満点で評価点を算出し、審査委員数で割り返した平均得点が18点以上及び「協働性」の平均得点が3点以上の事業を採択事業とする。

【三上連区】

三上連区が地域の交流と結束を深め、防災意識の向上を図るため、三上ふれあいまつりを開催したいと考えている。多くの子どもたちの参加を促すため、昼のコースターづくり、和菓子づくりなどものづくり体験や、防災プログラムの体験、和太鼓の演奏体験といった子どもたちが、楽しめる体験型のイベントを企画している。

体験その1としては、ものづくり体験である。ものづくりは子どもたちが興味関心をもつもので、つくる楽しさや創意工夫の育成、完成した時の達成感と子どもたちの体験としても、とてもよい効果が期待できる。

そこで協働していただくのが、乗本畳店で、畳のコースターづくりをしていただく。当日は、乗本畳店に畳のコースターの作り方を教えていただくとともに、畳製の名刺入れや畳製のタブレットケースなども会場に展示していただき、訪れた方たちに畳の良さのPRもしていただく。

また、亀忠という和菓子屋とも協働で、和菓子づくりを教えていただく。近頃、子どもたちにとって和菓子は馴染みが少ないようだが、この和菓子づくりを体験して、ぜひ日本の良さの一つとして和菓子づくりを楽しんでいただきたいと考える。

体験のその2として、三上連区で重要事項と位置づける防災体験を企画に盛り込んだ。地元消防団が消防車両乗車体験や消火ホースの持ち方などを子どもたちに伝え、子どもたちに消防について興味関心をもってもらい、地元消防への理解を深めてもらおうと考えている。防災体験の2つ目としては、市民活動団体の防災塾ライフポートと協働し、ライフポートの防災プログラムをまつり会場で展開していただく。ライフポートは、子どもたち向けの防災体験プログラムをいくつかもっており、例えば「カエルさん搬送レース」や、非常時の持ち出し品は何か必要かをクイズ形式で問う「持ち出し品なあにクイズ」、水消火器で的を当てる「水消火器的あてゲーム」など、子どもたちがゲームやクイズを通じて、気軽に楽しく防災について学ぶことができるプログラムとなっている。

体験のその3として、演奏体験を企画した。これは、市民活動団体の和太鼓彩華組との協働で、団体演奏終了後、実際に子どもたちが和太鼓の演奏を教えてもらえるという内容である。

以上のように、さまざまなジャンルの事業所や市民活動団体がもつ技術や知識といった強みを生かす、三上ふれあいまつりを企画した。これだけの内容を自分たちの連区だけで行うことは難しく、この体験イベントは、協働だからこそ実現できるものである。ぜひ、このまつりを通して連区住民の繋がりが、絆を深め、地域の活性化を図りたいと考える。

【事務局】

審査員の方々、何か意見やご質問はあるか。

【委員】

子ども中心の企画にするのは、今後につながるため、とても良いと思う。自分たちの住む町内でも、子どもが元気になれば、地域全体が元気になると考えている。

自分たち町内でも様々な活動を行っているが、防災訓練は今までも三上連区で行っていたのか。

【三上連区】

通常の防災訓練は2回ほど行っており、水消火器などを使って訓練を実施した。

【委員】

内容が多く、今後につながる活動になると思う。今回、費用的にテントに比重を置いているのは、今後、長い期間のサイクルを考えているためか。ぜひ、来年以降も継続してできたら三上連区が元気になると思う。

【三上連区】

テントは2張り使用することを考えている。将来的にも有効に使えると思う。

【会長】

すばらしい協働の形だと思う。町内会だと一定期間で会長の任期が終わると思うが、会長が変わった後も継続は可能か。

【三上連区】

会長の任期は1年である。三上連区では、3年に1回市民館まつりを開催しており、市民館まつりの開催後の2年間は空白の期間となっている。今までも、空白の2年間で何か別の企画をしてほしいとの声があった。今回企画した盛沢山な企画「三上ふれあいまつり」を市民館まつりのない2年間で開催したいと考えている。

【委員】

町内会の役割として、消防団以外に、どんなことを行っているか。

【三上連区】

敬老会なども大きなイベントとして実施している。今年は、町内会で75歳以上の方をお呼びし、お祝いをした。また、市民館まつりの開催、戦争で亡くなった方々を慰霊する慰霊祭を行ったりした。

【委員】

今回のイベントでは、三上連区として消防体験のほかに何か行っているか。

【三上連区】

三上ふれあいまつりの同日には、芋煮会を行う予定で、芋煮会を開催するのは、将来、震災等で炊き出しができるためである。

また、今回の三上ふれあいまつりでは、子どもたちをはじめ幅広い世代に、町内について興味を持ってもらう機会としたいと考えている。

審査終了後

【事務局】

審査の結果、30点満点中、全体の平均点が24.71点、市として高い基準としている協働性の評価については、5点満点中、4.14点と高い評価点となっているため、今回の事業は採択となる。

各委員からも、大変わかりやすい企画であることや、様々な企業のご協力も得ていることが評価されている。今後、ぜひ継続していただき、子どもたちの力を推進力としていただきたいとの意見も出ている。

【会長】

補助金を有効に使って、次につなげ、あたたかい地域を目指してほしい。それがモデルとなって、他の地域にもつながっていくことで、豊川市全体が変わっていくと思う。大変なこともあるかもしれないが、地域に根差していくことを期待する。

(2) 「とよかわ市民協働推進計画実施施策評価結果」について

【事務局】

第2回市民協働推進委員会にて、とよかわ市民協働推進計画について、事業の実施内容や施策の進捗状況を報告し、委員の皆様には評価をしていただいた。今回の委員会では、評価結果について事務局として確認したいことが3つある。

1つ目は、「委員会評価」欄の点数について、委員の皆様には5段階評価していただき、その評価点を小数点第1位まで表記しているが、評価基準に定める評価点との整合性を図るため、整数での評価とすること。

2つ目は、「委員の意見」欄の「進展したこと」や「残された課題」について、同一または、類似した意見を1つに集約すること。

3つ目は、評価書が実施施策ごとの作成であることから複数ページになっているため、ひと目で評価結果がわかるように「とよかわ市民協働推進計画実施施策評価結果」を作成すること。

なお、「とよかわ市民協働推進計画実施施策評価書（案）」、「とよかわ市民協働推進計画実施施策評価結果（案）」においては、事務局で作成後、郵送にて委員の皆様からご意見をお伺いしたところ、特に委員の皆様からはご意見はなかったため、本委員会にて、ご承認をいただければと考えている。

【会長】

ただいま事務局からの説明があったとおり、「とよかわ市民協働推進計画実施施策評価書（案）」、「とよかわ市民協働推進計画実施施策評価結果（案）」については、皆さまからいただいた意見を取りまとめ、それについて意見の聴取も行っているため、事務局の3つの提案どおり、委員会として承認して、市長へ報告することとしてよろしいか。

【委員】

異議なし。

【会長】

承認されたため、それぞれの案の文字を削除していただくようお願いする。

(2)「その他」について

【事務局】

第3回の委員会は、豊川市市民協働推進事業補助金の公開プレゼンテーションの審査をお願いします。公開プレゼンテーションは、令和2年3月28日（土曜日）午後1時30分からプリオビル4階のとよかわボランティア・市民活動センタープリオの市民交流ホールで行う。詳しくは、開催日が近づいた時点で、開催通知にてお知らせする。